

# せたな町 地域エネルギービジョン業務の概要

2021年10月22日

# 目次

1. 地域エネルギービジョン業務とは
  - (1) 背景
  - (2) 目的
  
2. 地域エネルギービジョンの検討
  - (1) 現 状
  - (2) 課題及び課題解決に向けた取り組み(案)
  - (3) 実施方法(年度ごとのフロー)
  - (4) 長期的なロードマップ(イメージ)

# 1. 地域エネルギービジョン業務とは

## (1) 地域エネルギービジョン業務の概要

- わが国では、2020年10月に2050年の脱炭素社会実現を目指すことを国際社会に表明し、合わせて2021年4月に2030年度に温室効果ガスを2013年度比46%削減という目標が宣言された。
- また、エネルギー基本計画（素案）（7月21日公表）では、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の主力電源化の徹底が基本方針として示された。
- 特に、太陽光・陸上風力・洋上風力への期待が大きく、地域と共生する形での適地確保が政策対応のポイントとして掲げられている。

環境省では、地方公共団体における2050年までの二酸化炭素削減目標を見据えて再生可能エネルギーの導入目標を策定する業務を実施

「再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業」のうち、地域再エネ導入戦略策定支援事業

➤ 本町は、2021年7月30日に採択を受け、業務を実施

# 1. 地域エネルギービジョン業務とは

## 【参考】

### 01-2. 各事業の目的及び概要等 その1

#### 1) 地域再エネ導入戦略策定支援事業 (第1号事業)

地域への再エネ導入目標の策定や再エネ導入促進エリアの設定における合意形成等を支援します。



#### 1. 事業目的

地方公共団体における2050年までの二酸化炭素削減目標を見据えて地域への再エネ導入のプランを明確にすることに加えて、再エネ導入を促すエリアの設定に係る合意形成等を支援することで、地域再エネの最大限の導入を図る。

#### 2. 事業内容

##### ① 2050年までの脱炭素社会を見据えて再生可能エネルギーの導入目標を策定する事業 (第1号事業の1)

中長期的に脱炭素化を図り持続可能でレジリエントな地域を実現し、地域循環共生圏を構築するため、長期目標として2050年を見据えて、どの再エネを、どれくらい、どのように導入し、有効活用するかについて、地域全体で合意された目標を定めるための調査検討や合意形成を支援する

##### ② 円滑な再生可能エネルギー導入のための促進エリア設定等に向けたゾーニング等の合意形成を図る事業 (第1号事業の2)

地域が主導し、地域が裨益する円滑な再エネ導入が期待できるエリアである促進エリア設定等に向けたゾーニング等の取組と、それに向けた調査検討や、地域住民等による合意形成等を支援する。

#### 3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助(定額)
- 補助対象 地方公共団体

#### 4. 第1号事業の1のシナリオイメージ例



地域エネルギー  
ビジョン  
業務部分

お問合せ先: 公益財団法人 日本環境協会 再エネ計画づくり実現支援事業事務局 saiene-help@jeas.or.jp

4

再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業  
※環境省,令和2年度公募説明資料から抜粋

# 1. 地域エネルギービジョン業務とは

## 【参考】地域エネルギービジョン関連採択自治体一覧（88自治体）

・北海道 石狩市	・福島県 本宮市	・福井県 大野市	・岡山県 真庭市
・北海道 鹿追町	・福島県 広野町	・山梨県	・岡山県 和気町
・北海道 江別市	・福島県 飯舘村	・長野県 佐久市	・岡山県 早島町
・北海道 乙部町	・茨城県 下妻市	・長野県 立科町	・香川県 高松市
・北海道 せたな町	・茨城県 稲敷市	・長野県 高森町	・香川県 観音寺市
・北海道 喜茂別町	・栃木県	・長野県 白馬村	・香川県 宇多津町
・青森県 西目屋村	・栃木県 那須塩原市	・長野県 高山村	・愛媛県
・岩手県 宮古市	・埼玉県 さいたま市	・岐阜県 大垣市	・高知県 日高村
・岩手県 遠野市	・埼玉県 入間市	・岐阜県 恵那市	・福岡県 北九州市
・岩手県 釜石市	・東京都 利島村	・岐阜県 美濃加茂市	・福岡県 久留米市
・岩手県 葛巻町	・神奈川県 相模原市	・岐阜県 郡上市	・福岡県 みやま市
・岩手県 紫波町	・神奈川県 南足柄市	・愛知県 半田市	・福岡県 糸島市
・岩手県 洋野町	・神奈川県 真鶴町	・兵庫県 明石市	・熊本県 熊本市
・岩手県 一戸町	・新潟県	・兵庫県 豊岡市	・熊本県 上天草市
・宮城県 美里町	・新潟県 妙高市	・兵庫県 加西市	・熊本県 球磨村
・秋田県 大館市	・新潟県 佐渡市	・兵庫県 神河町	・大分県
・秋田県 八郎潟町	・富山県 富山市	・奈良県	・宮崎県 都城市
・山形県 長井市	・富山県 高岡市	・奈良県 広陵町	・鹿児島県 肝付町
・山形県 南陽市	・富山県 魚津市	・島根県 邑南町	・鹿児島県 伊仙町
・山形県 高畠町	・富山県 氷見市	・岡山県 岡山市	・沖縄県 宮古島市
・山形県 川西町	・富山県 南砺市	・岡山県 備前市	・沖縄県 伊江村
・福島県	・富山県 立山町	・岡山県 瀬戸内市	・沖縄県 竹富町

# 1. 地域エネルギービジョン業務とは

## (2) 地域エネルギービジョン業務の目的

- 2050年までの脱炭素社会を見据えて温室効果ガスの排出削減及び持続可能な地球環境の保全並びに豊かで安心・安全な地域経済・社会システムの構築を目指すため、せたな町地域エネルギービジョンを策定



# 目次

1. 再生可能エネルギーゾーニング業務とは
  - (1) 背景
  - (2) 目的
  
2. 地域エネルギービジョンの検討
  - (1) 現 状
  - (2) 課題及び課題解決に向けた取り組み(案)
  - (3) 実施方法(年度ごとのフロー)
  - (4) 長期的なロードマップ(イメージ)

## 2. 地域エネルギービジョンの検討

### (1) 現 状

- 人口：2015年現在8,473人(国勢調査)、2021年7,493人(2021年3月末住民台帳)と減少が続いている。2027年の推計は6,500人。
- 産業：基幹産業は農業と水産業。
- 観光：日本一険しい「太田神社」の参道、清流日本一17回選定「後志利別川」、日本一レベルの水質を誇る3つの「海水浴場」、日本初の洋上風車「風海鳥」など、「日本一」「日本初」として紹介できる“町の自慢”が多くある。

### 【風力発電】

- 日本初の洋上風力発電施設である「風海鳥」は、設置後の耐用年数20年を超えるため、リプレース・撤去など今後の方針の必要がある。
- 陸上風力事業：2事業稼働中。環境影響評価手続き中の事業が同一エリアで2事業。
- 洋上風力事業「(仮称)檜山エリア洋上風力発電事業」
- 小型風力発電：住民の安心・安全、環境保全、景観形成の観点から事業者が自主的に遵守する事項を定めた「せたな町小形風力発電施設設置に係わるガイドライン」2018年3月制定。



## 2. 地域エネルギービジョンの検討

### (1) 現 状

#### 【再生可能エネルギー関連の計画】

- 参考資料1の通り。

#### 【温室効果ガス排出量】

- 本町で最も大きい排出源(2018年度)は運輸部門35%、家庭部門32%。北海道や全国平均と比較して、運輸部門や家庭部門の割合が高い。
- 2020年1月に、せたな大里ウインドファーム(発電所出力: 50,000kW)が運開し、対消費電力FIT導入比は2020年度現在413%。

## 2. 地域エネルギービジョンの検討

### (2) 課題及び課題解決に向けた取り組み(案)

- 少子高齢化、人口減少の歯止め
- 基幹産業である農林水産業の活性化
- Uターン、定住化可能な雇用の創出
- 地域の様々な資源(自然、再エネ、観光など)の活用

↓(課題解決に向けた取り組み)

#### 【基本方針】

- ①町の再エネポテンシャル量を考慮した目標の設定
- ②町が有する農林水産業や、豊かな自然、観光資源との共生を考慮した計画の検討
- ③町民への様々な還元を考慮した計画の検討
- ④日本初の実証プロジェクト、日本初の洋上風力発電所「風海鳥」のリプレース事業の検討

↓(実証事業の検討)

## 2. 地域エネルギービジョンの検討

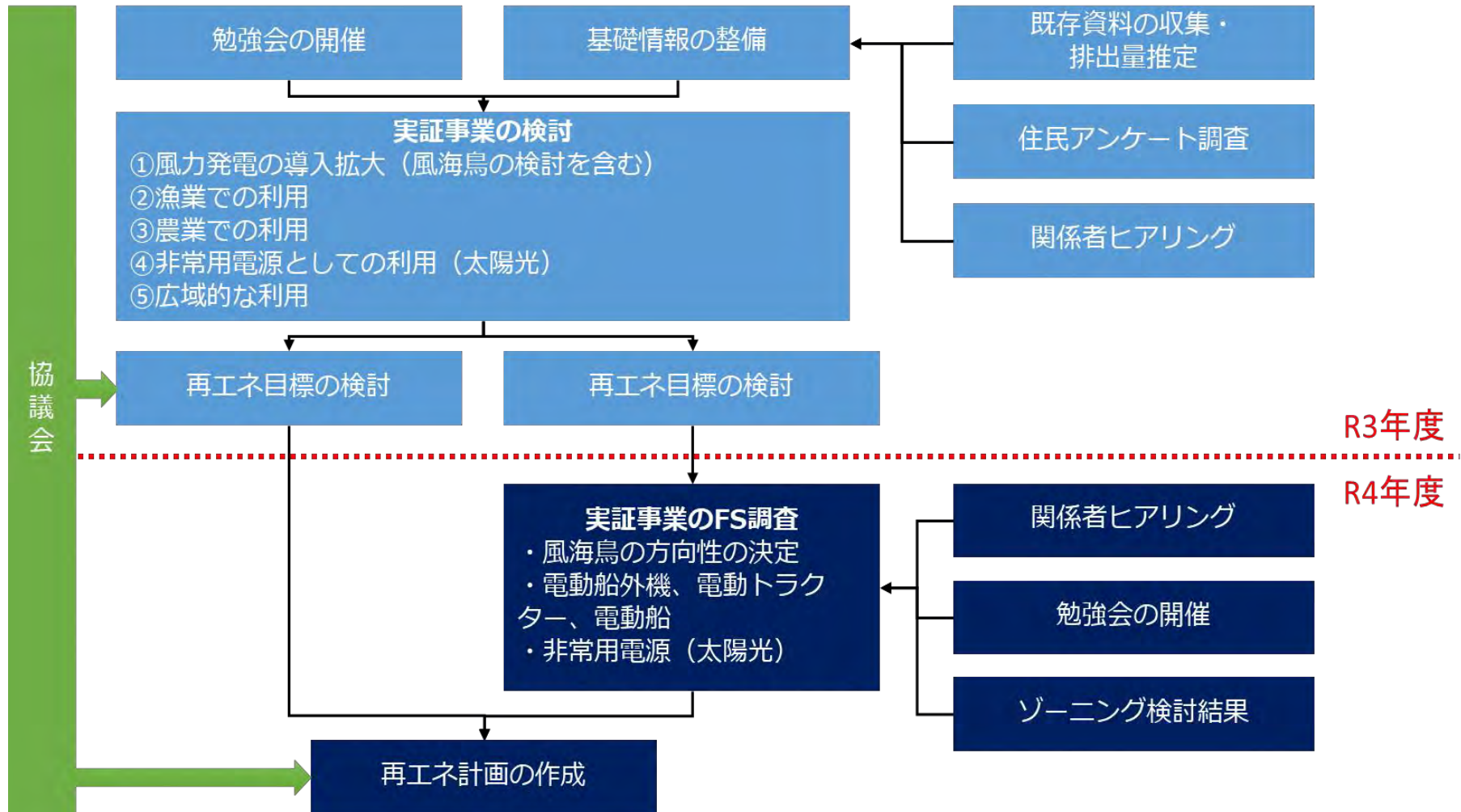
(2) 課題及び課題解決に向けた取り組み(案)

### 【実証事業の検討】

- ① 風力発電の導入拡大
- ② 漁業での利用
- ③ 農業での利用
- ④ 非常用電源としての活用
- ⑤ 広域的な活用
- ⑥ その他(吸収源である森林整備の推進、適切なゾーニングの策定による生物多様性や観光資源の保全・創出)

# 2. 地域エネルギービジョンの検討

## (3) 実施方法(年度ごとのフロー)



## 2. 地域エネルギービジョンの検討

### (4) 長期的なロードマップ(イメージ)

短期(~2025)	中期(~2030)	長期(~2050)
・再生可能エネルギービジョン策定	・実証事業の実施 ・再エネ発電事業の拡大	・洋上風力発電事業の推進 ・次世代技術の利用
①風力発電の拡大 ・ゾーニングを踏まえた拡大	・陸上・沿岸洋上風力の導入	・沖合洋上風力(浮体式)の導入
②漁業での利用 ・計画を踏まえたFSの実施	・蓄電システム利用の電動漁船・冷蔵	・水素を利用した漁船
③農業での利用 ・計画を踏まえたFSの実施	・蓄電システム利用の電動トラクター	・水素を利用した電動トラクター
④非常用電源としての利用 ・公共施設での太陽光発電の導入	・非常用電源利用の町内展開	・複数のシステムの電源確保
⑤広域的な利用 ・計画を踏まえたFSの実施	・再エネ蓄電による電動船の運航	・水素を利用した電動船
⑥その他 ・吸収源としての森林整備及びゾーニングによる生物多様性・観光資源の保全・創出		